

232鉄道車両を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	9 ～ 10	線路の踏切以外を横断中、列車にはねられ死亡した。	59	18	30107	1～ 9
2	2020	3	17 ～ 18	就業場所で車両内巡回中に車両が急停車し、掴む場所がなく前方に転倒した。その際、腰と背中を打ち、左肩関節、第5腰椎に周囲炎、すべり症、変形性腰椎症を発症した。	68	2	170201	100 ～ 299
3	2020	4	13 ～ 14	新幹線車内の清掃開始後、座席を進行方向に回転させようと右足でペダルを踏み、右手を背もたれに掛けた状態で、椅子を回そうとしたところ、右足が内側に大きく入って、右膝関節捻挫を負った。	51	19	150101	500 ～ 999
4	2020	5	5 ～ 6	駅構内で出区点検中に、コロナウイルス感染拡大防止措置のため、客室内窓を開ける作業中に窓が固くなっており力を入れた際に腰に痛みが走り、腰椎を捻挫した。	33	19	40101	100 ～ 299
5	2020	5	19 ～ 20	車両の乗降ドアより車両上の通路に出て鎖錠し、振り向いた際バランスを崩し後方に転倒して、右足を損傷した。	60	1	40101	100 ～ 299
6	2020	6	3 ～ 4	線路上で道具運搬作業時、時速10km前後出ている、高さ約30cmのトロリーからバランスを崩して路肩（碎石）の上に背中から落下し、肋骨を折った。	38	1	30199	10 ～ 29
7	2020	6	9 ～	運転席から降りる際、乗務員室の階段を踏み外し、足をひねるとともに左上腕部を壁にぶつけて左足関節捻挫、左上腕打撲を負った。	26	2	40101	100 ～

			10							299
8	2020	7	10 ～ 11	車両センター構内の洗浄線で、電車の全般清掃中、1号車と2号車間の貫通渡り板下の清掃を行った後、左手で片方の渡り板を持ち、右手でもう片方の渡り板を戻したところ、左手の渡り板が滑り、右手の上に落下し、右母指圧挫創および右母指基節骨折を負った。	47	4	150109	～	99	
9	2020	7	14 ～ 15	車庫内で電車の車内清掃を終え、乗務員室ドアより降車しドアを閉めたとき、取っ手を持たずにドアの縁を持って閉めたため、右手薬指を挟んで骨折した。	56	7	150101	～	29	
10	2020	7	22 ～ 23	車庫3番線留置車両（特急車）の入庫整備を終了し、運転台左扉から降りようとした。その際、昇降用の取っ手を握り損ねてバランスを崩し、地面に飛び降りたときに右足に強い痛みを感じ打撲した。	60	1	11503	～	49	
11	2020	8	6 ～ 7	点検の際、車両に乗り込むためドアノブを扱ったが、内側から施錠されており開かなかった。そのため、右手で手すりを握り、左手に忍鍵を持ち解錠しようとしたが鍵が固く、力を入れたところ左足がステップから外れた。このとき、体が外側に開き右手だけで手すりにぶら下がるような体勢となり右指関節を捻挫した。	42	19	40101	～	499	
12	2020	8	9 ～ 10	乗車ホームにて到着した列車の、折り返し回送扱いの対応を行っていた。当該列車は、入庫であるため車内の窓を確認したところ、約10cm開いている窓を閉めるため、車内に入り客室窓を閉めようと座席間に立った。そのとき、親指を上にして人差し指で窓上部の取っ手を掴むように両手で掴み、窓を押し上げたところ、右手に異音と違和感を覚えて骨折した。	29	19	40101	～	99	
13	2020	12	11 ～ 12	駅での清掃作業が終了し、列車で次の駅に向かっていたところ、車内で瞬間的に意識がなくなって転倒し、後頭部に挫創を負った。	66	2	150109	～	29	

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\) に戻る。](#)